



福岡市議会では、9月議会に続き、2015年度決算に関する特別委員会(10/5～21)が開催されました。

福岡市の人口が155万人に達し、全国から元気ある都市として注目されています。しかし、子どもの貧困や、切り下げられた高齢者福祉などの現実を見逃すことなく取組んでいかなければなりません。一方、国政では国の暴挙が目にあまる沖縄、辺野古・高江。着々と進められる原発再稼働、「核兵器禁止条約決議案」に反対した日本。TPPの衆議院での強行採決、南スーダンへのPKO派遣自衛隊への「駆けつけ警護」の付与等々…。

国民の声を無視し強行しています。しかし、諦めることなく声を発し、行動し続けていかなければならないと強く思う日々です。

福岡市議会議員 **いけだ良子**

決算特別委員会分科会での主な発言

●不登校対応策の見直しを！

2015年度の中学1年生が6年生の時は46人であった不登校が、中学校進学時には220人と激増しており、未だ中1ギャップの解消は図られていません。質問の中で、中1の不登校人数は、少人数学級実施校で1校当たり2.5人、未実施校は4.0人であることが分かりました。明らかに少人数学級の効果が表れていることから、(教科担任の配置問題の解決を含め)中学1年生に少人数学級を求めました。

一方、中学校に配置している不登校対応教員は、6年間24校のままです。その配置は小学校からも強い要望が上がっていることから、小学校教員による中学校ブロック配置を提案しました。

●学校司書の増員を！

主体的な学びアクティブ・ラーニングが注目を浴びています。学校図書館は大きな役目を担い、司書の役割は非常に重要であることから学校司書の増員を要望しました。

●給食室にエアコン設置を！

学校給食衛生管理基準では、給食室の望ましい温度は25度以下、湿度は80%以下に保つよう努めることと定められていま

す。しかし、6月～9月初めの市内のある小学校の給食室は、調理前から30度を超える日が続いており、調理後には36度になる日もあった実態を突き付け、給食室のエアコン設備を求めました。市教委は、スポットクーラーを早急に設置することで対応するとの答弁でしたが、食の安全や職員の健康管理の面からもエアコン設置を求めています。

●市営住宅に障がい者グループホームを計画的に！

現在、市営住宅の空き室を障がい者グループホームとして11戸28人分使用しています。今後、市営住宅の建て替えに伴い、複合施設としてのグループホームを計画的に進めていくよう要望しました。保健福祉局は、住宅都市局と協議し活用を進めていきたいとの答弁がありましたが、空き室利用だけでは問題は解決しません。引き続き、グループホーム仕様の住宅を求めています。

●こども未来局への要望

留守家庭子ども会の狭隘化解消と静養室の整備、保育指針の策定、えがお館への児童福祉司・心理司など専門員の増員、里親への更なるサポート体制、思春期引きこもり支援としてアウトリーチの強化などを求めました。

いけだ良子の活動報告(7月～9月)①



7/25～26 九州ブロック会議 九プロ政策研究集会 (鹿児島)

九州各県約80名の自治体議員が参加。教育・平和・福祉・議会改革など日頃の議会活動の交流を行いました。私は、分科会の司会を務めました。



7/27「子どもの人権問題」講演(八女市)

いきいき子どもネットワーク代表として、子ども・女性・障がい者など人権に関わる講演活動を行っています。

7/29 平和行進出発式(冷泉公園)

原水爆禁止長崎大会を前に、福岡地区平和行進。宗像・粕屋地区から横断幕を引き継ぎ、博多区冷泉公園からJR南福岡駅まで行進して、筑紫地区に引き渡します。



いけだ良子の活動報告(7月～9月)②

7/30「安定ヨウ素剤事前配布の必要性」

『女性会議役員会で、玄海原発プルサーマルの会の石丸さん、小林さんとの座談会。福岡市は、193,250人分の安定ヨウ素剤を吉塚の市民病院に備蓄しています。しかし、万が一の原発災害の際に、西区の住民に敏速に届くのか、大変不安があります。学校や公民館での分散備蓄はもとより、希望する個人への事前配布を求めていきます。



8/1～3 第2委員会行政視察(こども行政について)



統廃合で役目を終えた小学校を保育園にした渋谷区、待機児童のための保育所を公立で行っている静岡市の「待機児童園」、子育て包括支援を行っている堺市に行政視察しました。

8/17「LGBTの現状を知って!!」議員説明会

LGBT当事者や家族の会など情報発信に努める6団体から、現状や議会への要望などのお話がありました。議員参加はわずか10人。うち福岡市議は私を含めて4人でした。もったいない!



8/20 光の祭典「いきみないと祭り」(吉岐南校区)

段ボールで造った猫バスが、皆さんをお迎えし、小・中学生が作った光のオブジェを並べた地上絵やギャラリーが、幻想的な夜景をかもし出します。



8/21「福岡市障がい児教育を考える集会」

障がいがあってもなくても、共に学び育ちあう教育をめざす保護者・教職員が現況報告や課題について意見交換をします。例年、「しゃべり場」として私が担当させていただいています。今年も、多くの課題が出されました。



8/26「障がいを理由とする差別の解消に向けたフォーラム」

今年4月から「障がい者差別解消法」が施行されました。福岡市は、条例制定のために障がい当事者や地域、企業、学識経験者、教育関係者、関係団体など18名の委員で構成する「条例検討会議」を設置、第1回目を8/30開催しました。2018年度中の条例施行をめざしています。実効ある内容となるよう、意見を述べていきます。



8/26 第2給食センター開所式(香椎浜ふ頭)

第1センターと同じ東洋食品グループ(民間事業者)によって、PFI方式で整備運営されます。1973年設立から43年間、福岡市の中学校・特別支援学校の調理業務を担ってきた市学校給食公社の給食センター4か所は、民間委託で現在2か所となり、調理員が転職・民間移行を余儀なくされています。第3センターの用地が決まり(今宿青木)、2020年8月供用開始予定ですが、長年、福岡市の中・特支学校の給食の安心・安全を守ってきた調理業務に携わる方の雇用問題は深刻です。職域を守るために知恵を出さなければ!



9/1～3 姉妹都市締結30周年、ニュージーランド・オークランド市へ友好訪問団



福岡市議会で訪問団を結成し、オークランド市議会と友好親善を図りました。市長への表敬訪問では、マオリ式の歓迎式で迎えられ、2019年ラグビーワールドカップでは、「オールブラックスの練習会場は福岡市で!」と売り込みも。市立西陵高校とグラマースクールとのラグビー交流試合やイベント「福岡デイ」への参加、ウォーターフロントの街づくり行政視察、レセプション会場では電力政策や女性参画などについて市議との意見交換を行いました。

9/6 福岡市民クラブ議会活動報告会

労組、諸団体など130人余りの方々にご参加いただきました。いけだ後援会や『女性会議、社民党からも約30人が参加、子どもの権利条例や障がい者差別禁止条例の制定、女性の非正規問題など多岐にわたる意見・要望をいただきました。



9/19「戦争法」抗議集会(西区九条の会)

昨年9月19日、安全保障関連法が强行採決され、本年3月29日施行されました。更に先の参院選では、改憲勢力が3分の2を占めました。集団的自衛権や憲法改悪は絶対に許してはなりません。姪浜駅で野党共闘して街頭演説を行いました。



9/20 ウィメンズアクション

毎週火曜日17:30より天神で、「戦争法」に反対する女性たちが集まってスタンディング行動。9月より毎月第3火曜日のみとなりました。



9/26「最低賃金が765円に」クラシノソコアゲキャンペーン(連合福岡地協街宣)

10月1日より福岡県の最低賃金が、1時間765円に改定されました。最低賃金は、正社員のみでなく、パート、アルバイト、派遣などすべての労働者に適用されます。生活できる賃金として、1,000円以上を求めていきます。



9/28「子宮頸がんワクチン被害集団訴訟」傍聴

国と製薬会社2社に損害賠償を求めた訴訟の第1回口頭弁論が福岡地裁でありました。原告の女性2人が意見陳述し、「治療体制を確立して、体を戻してほしい」と訴えました。6月議会で被害者の支援策を求めましたが、中々進んでいません。



9/28「福岡市母と女性教職員の会」市教委との懇談会



少人数学級の学年拡大や特別支援教育、学校給食、男女平等教育の推進など教育環境の改善を求めました。2か月交代の支援員については、「せめて学期ごとの任用に」との提案に対して「検討していく」との回答。保護者・現場の声を伝える貴重な1時間です。

弁護士による
無料法律相談を
行っています

●日 時/毎月第4水曜日 17:00～19:00
●場 所/池田良子事務所
弁護士:津留雅昭 市議会議員:池田良子

※どなたでも、お気軽にご相談ください。秘密厳守。
事前にお電話でご予約ください。

いけだ良子事務所

〒819-0043
福岡市西区野方2丁目13-3
tel:092-812-3447 fax:092-812-3449
nukumori_anshin06@yahoo.co.jp

